神姫バス株式会社

2027年3月期　第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年11月9日







上場市場：東証スタンダード市場
証券コード：9083

目次

神姫バス株式会社

- 2027年3月期第2四半期（中間期）　決算概要
- 2027年3月期　業績予想
- 株主還元

©shinkibus Co.,Ltd.　2026

2027年3月期第2四半期（中間期）　決算概要

©shinkibus Co.,Ltd.　2026

サマリー

神姫バス株式会社

2027年3月期中間期は、前期に開催された大阪・関西万博の反動減を補う各種施策を実施したことで、売上高では前年同期比で微増となったが、利益では各種環境を踏まえた更なる処遇の改善や資材コストの高騰などにより減益（営業利益 △57.3%、中間純利益 △75.7%）となった。

自動車運送 （乗合バス事業）	・路線バスは、中距離線の増便や「GLION ARENA KOBE」の臨時輸送などにより、運送収入が増加。 ・高速バスは、大阪・関西万博輸送の反動減が大きな影響とはなったものの、既存路線の増便・復便、新路線の開設などが奏功し、運送収入は万博前の水準である前々期と比較して着実に増加。
不動産	・賃貸は、2026年2月に竣工した物件などにより、賃貸料収入が増加。 ・建設は、前期に引き渡しが完了した新築工事案件分を大規模改修工事案件等で補うも、売上は減少。
旅行貸切	・旅行は、インバウンドでの増収はあったものの、前期に実施した大阪・関西万博関連ツアーやチャータークルーズの反動減などにより、取扱高が減少。 ・貸切バスは、2025年11月適用の貸切バス新運賃制度による日車収入の増加はあったものの、大阪・関西万博シャトルバスの減収分などが響き、運送収入が減少。

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

連結業績（総括）

神姫バス株式会社

(百万円)	**2027年3月期 中間期**	2026年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	**26,370**	26,358	+12	+0.0%
営業利益	**537**	1,259	△721	△57.3%
経常利益	**518**	1,316	△798	△60.6%
売上高経常利益率	**2.0%**	5.0%	△3.0pt	－
親会社株主に帰属する中間純利益	**217**	894	△677	△75.7%
1株当たり中間純利益	**17.98円**	※74.15円	△56.17円	△75.8%

※2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定。

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

連結業績（セグメント別）

神姫バス株式会社

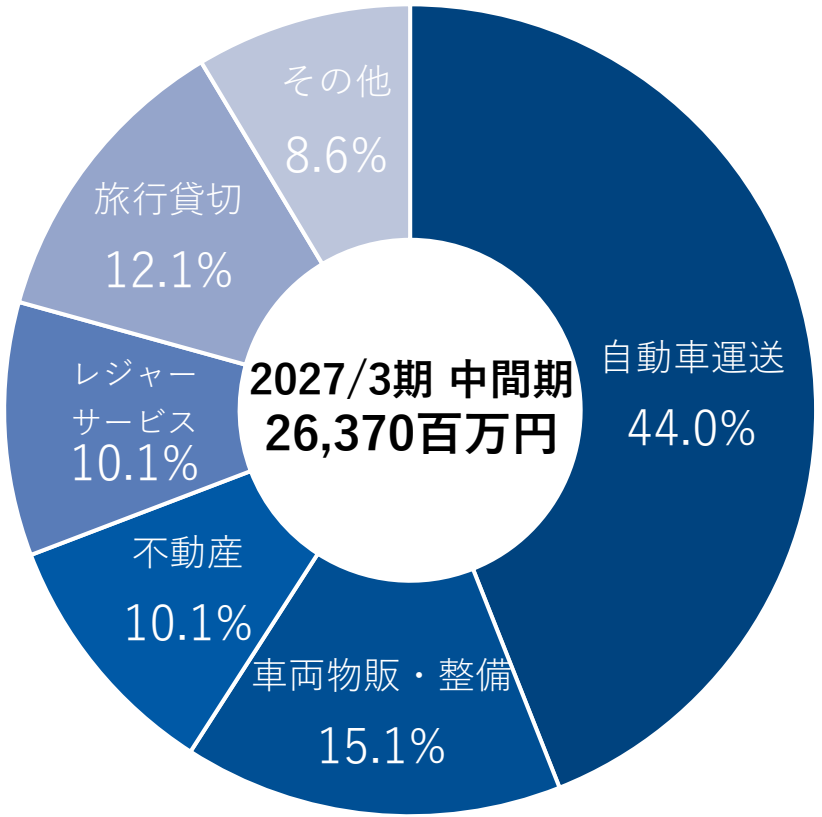
（百万円）	2027年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	**26,370**	**26,358**	**+12**	**+0.0%**
自動車運送	11,606	11,658	△52	△0.4%
車両物販・整備	3,986	3,847	+138	+3.6%
不動産	2,668	2,717	△48	△1.8%
レジャーサービス	2,675	2,553	+121	+4.8%
旅行貸切	3,191	3,331	△139	△4.2%
その他	2,243	2,250	△7	△0.3%
営業利益	**537**	**1,259**	**△721**	**△57.3%**
自動車運送	△328	238	△567	－
車両物販・整備	358	402	△44	△11.0%
不動産	715	719	△3	△0.5%
レジャーサービス	△7	△20	+12	－
旅行貸切	△106	△3	△102	－
その他	△96	△45	△51	－
（セグメント間取引消去）	2	△32	+34	－

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

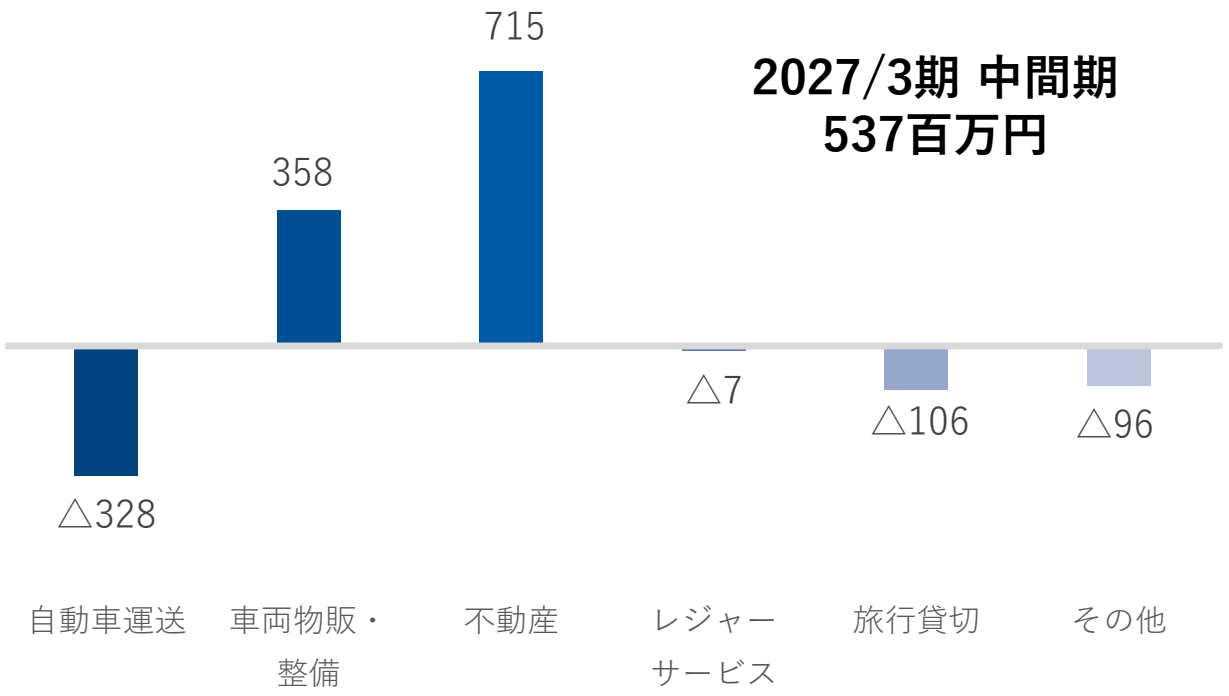
セグメント別収益概要

神姫バス株式会社

売上高構成比（単位：%）



営業利益（単位：百万円）



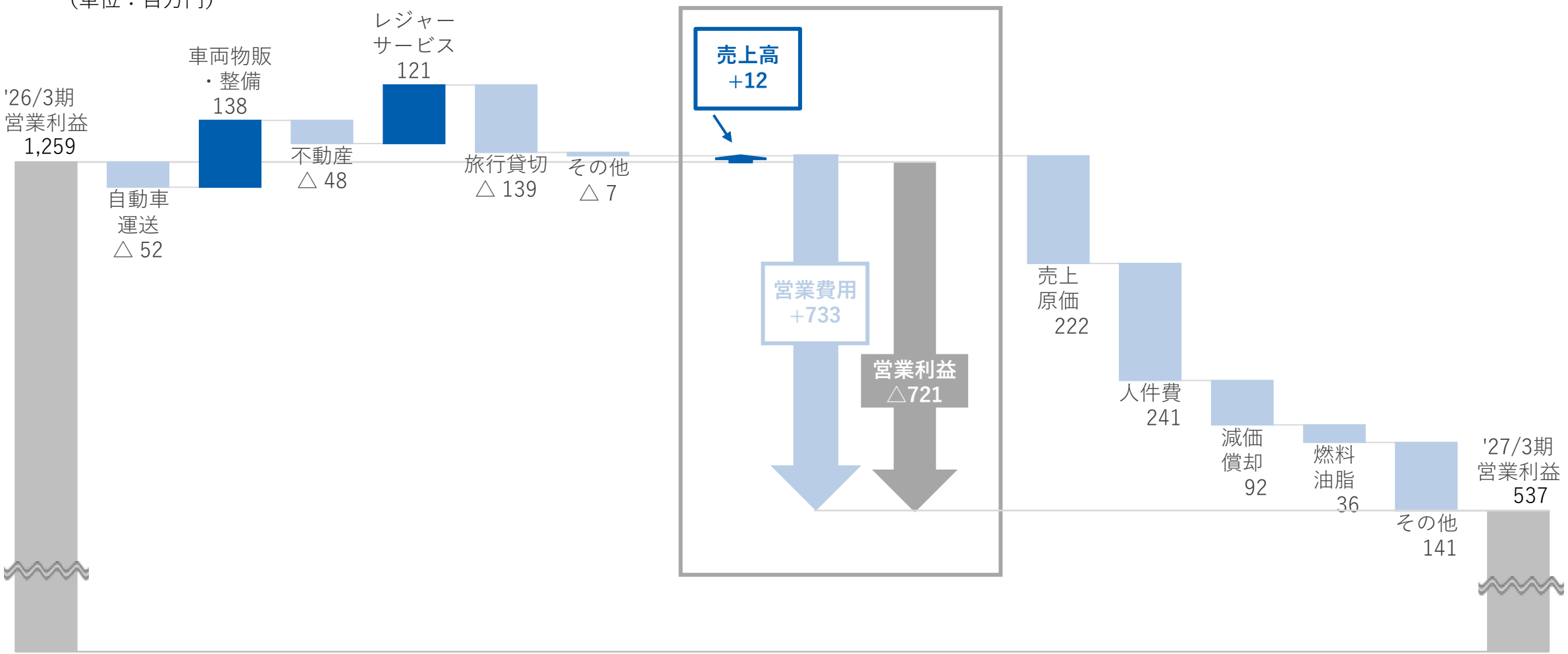
※セグメント間取引消去額（+2百万円）はグラフに含まれていない

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

営業利益　増減要因

神姫バス株式会社

（単位：百万円）



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

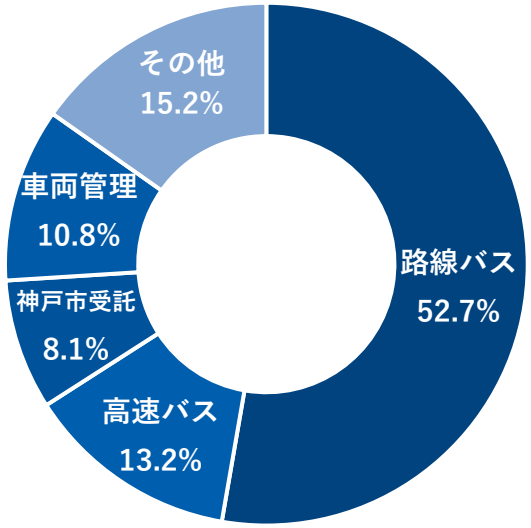
セグメント（自動車運送）

神姫バス株式会社

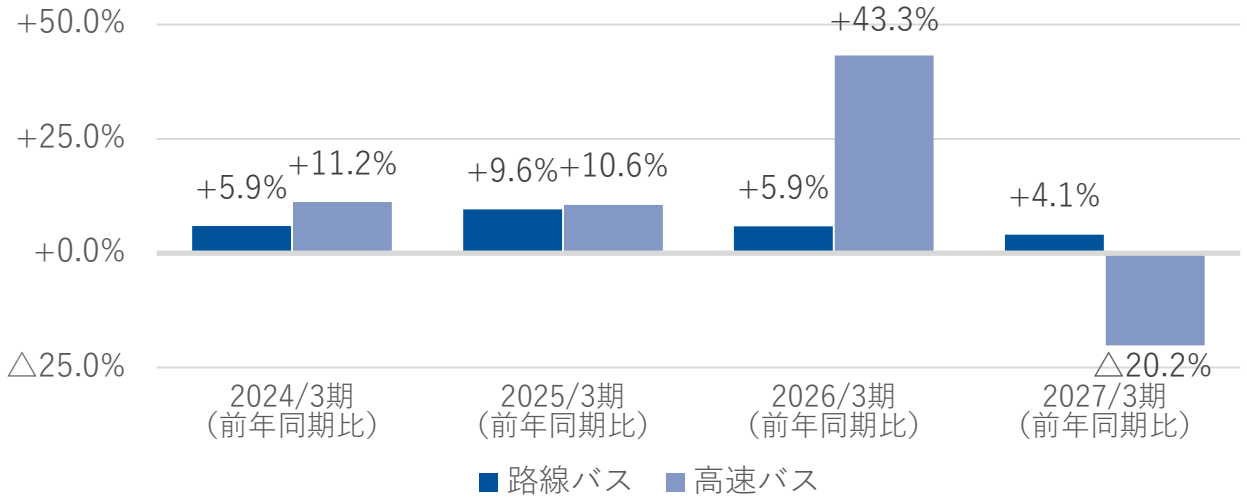
- **路線バスでは、通勤・通学などの利便性向上に向け三田～新大阪線での増便や、「GLION ARENA KOBE」のイベントにおける臨時輸送の増加などにより増収**
- **高速バスでは、既存路線の増便（神戸～松江・出雲線）や復便（神戸～高知線、関空リムジン線）などが寄与し、大阪・関西万博特需を除いた前々期と比較して14.3%増と、実質的な収益力は着実に伸長**

（百万円）	2027/3期			2026/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	**5,771**	**5,834**	**11,606**	5,769	5,889	11,658	△52	△0.4%
営業利益	**△81**	**△247**	**△328**	140	98	238	△567	–

部門別売上高比率（単位：%）



路線バス・高速バス売上高　前年同期比較（単位：%）



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

※グラフ内の各部門売上高は内部又は振替高控除前の金額

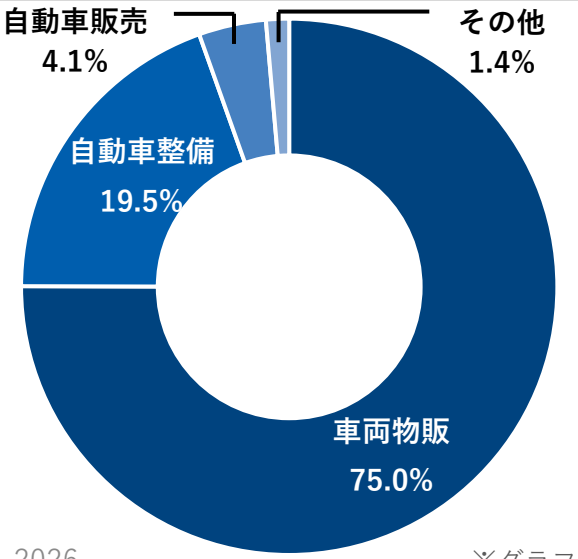
セグメント（車両物販・整備）

神姫バス株式会社

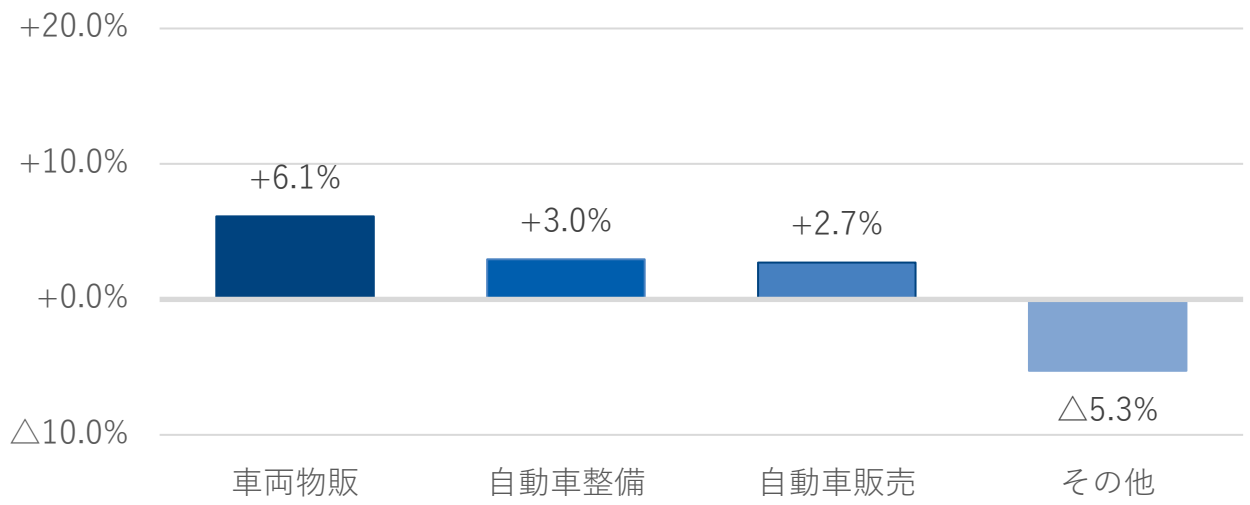
- 車両物販では、車両使用年数の長期化に伴う整備部品の出荷増や、部品価格の見直しなどにより増収
- 自動車販売では、中古バスやオークション販売が寄与したことなどにより増収
- 一方で、処遇改善による人件費の増加や、整備部門の工場建替工事に伴う賃料などの費用が増加し減益

（百万円）	2027/3期			2026/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	**1,949**	**2,036**	**3,986**	1,924	1,923	3,847	+138	+3.6%
営業利益	**156**	**201**	**358**	208	194	402	△44	△11.0%

部門別売上高比率（単位：%）



部門別売上高　前年同期比較



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

※グラフ内の各部門売上高は内部又は振替高控除前の金額

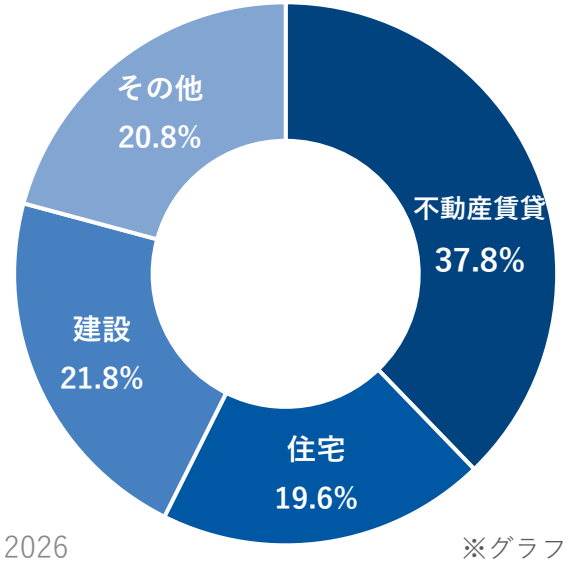
セグメント（不動産）

神姫バス株式会社

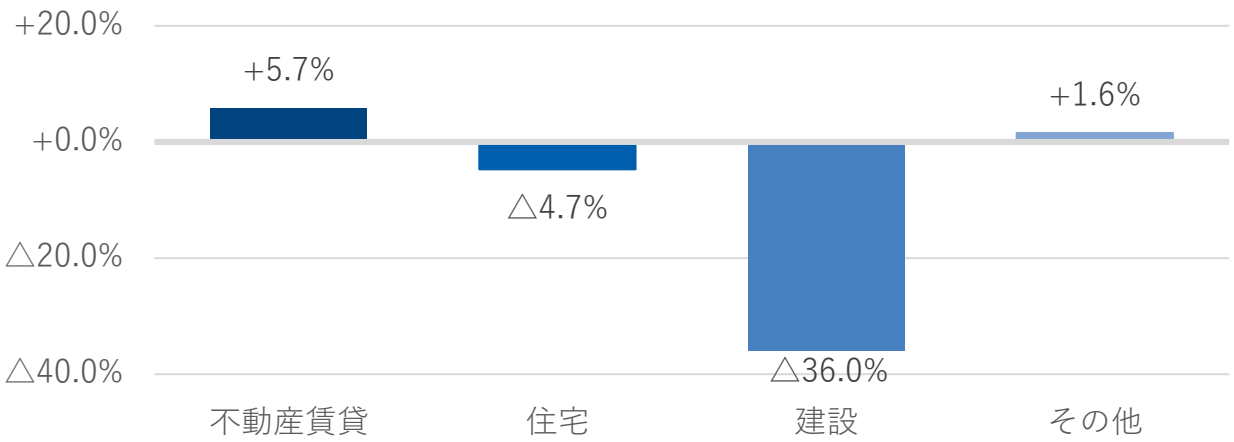
- 賃貸では、2026年2月に竣工した賃貸マンション（姫路市）の賃料収入が寄与したことなどにより増収
- 住宅では、注文住宅の引き渡し件数が減少したことなどにより減収
- 建設では、前期に引き渡しが完了した新築工事（金属系工場や障害者支援施設など）分を温浴施設の大規模改修工事等で補うも、売上は減少

（百万円）	2027/3期			2026/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	**1,257**	**1,411**	**2,668**	1,459	1,258	2,717	△48	△1.8%
営業利益	**329**	**385**	**715**	366	353	719	△3	△0.5%

部門別売上高比率（単位：%）



部門別売上高　前年同期比較



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

※グラフ内の各部門売上高は内部又は振替高控除前の金額

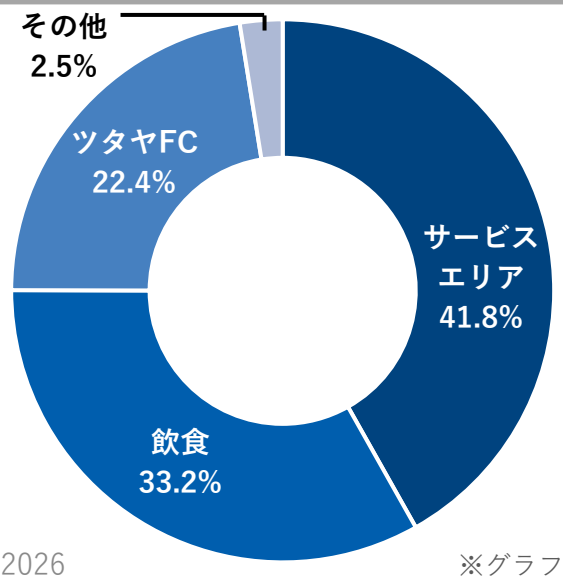
セグメント（レジャーサービス）

神姫バス株式会社

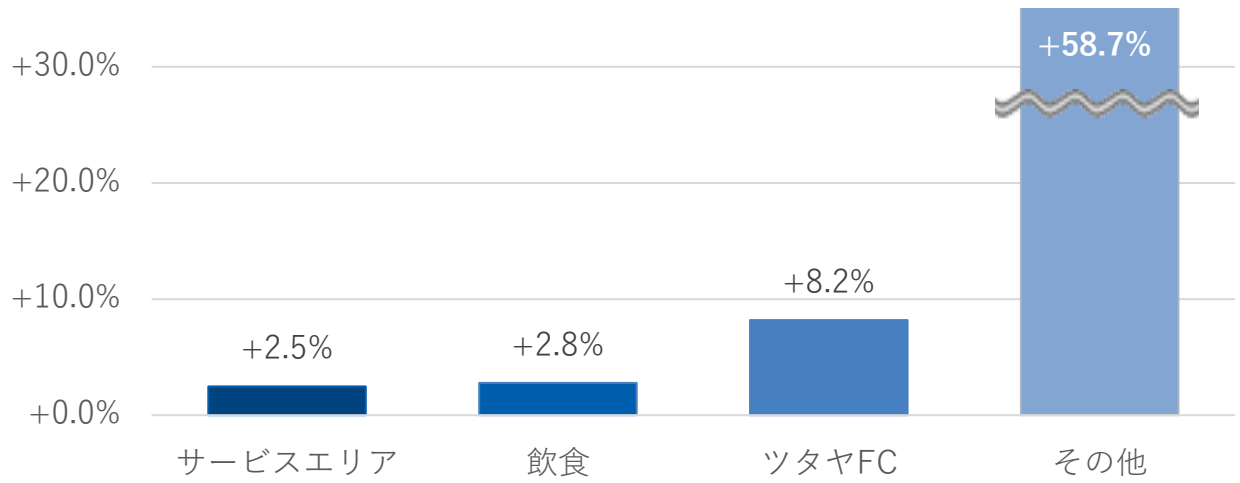
- サービスエリアでは、行楽シーズンの観光需要を背景に、来店数・客単価の増加により増収
- 飲食は、前期に閉店したカフェ1店舗の減収はあったものの、既存店舗が好調であったことや8月に「こぶた家リンクス梅田店」をオープンしたことなどにより増収
- ツタヤFCは、4月に撤退した音楽CDなどのレンタルに代わって強化した物販商品の販売が好調に推移し増収

（百万円）	2027/3期			2026/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	**1,232**	**1,443**	**2,675**	1,204	1,349	2,553	+121	+4.8%
営業利益	**△26**	**18**	**△7**	△30	10	△20	+12	−

部門別売上高比率（単位：%）



部門別売上高　前年同期比較



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

※グラフ内の各部門売上高は内部又は振替高控除前の金額

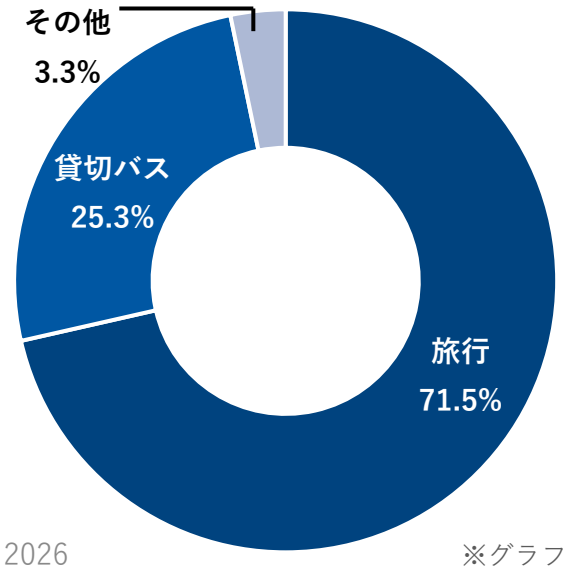
セグメント（旅行貸切）

神姫バス株式会社

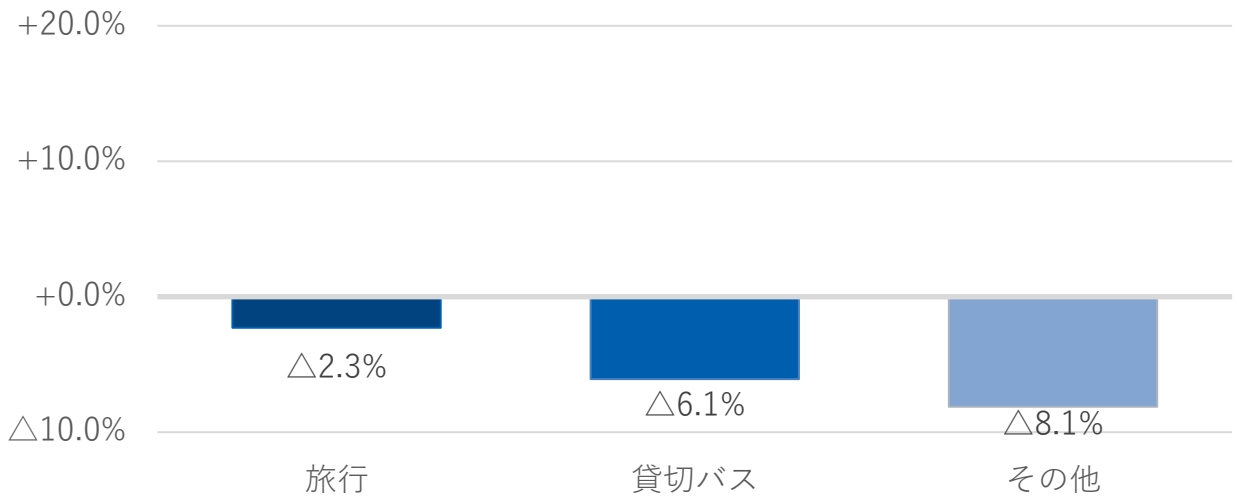
- **旅行は、前期業績を牽引した大阪・関西万博ツアーや2026年に引退した「にっぽん丸」によるチャータークルーズの減収要素が大きかったが、インバウンドとして海外OTAからの手配が大きく増加し、微減にとどまる**
- **貸切バスは、2025年11月適用の貸切バス新運賃制度による日車収入の増加（前期比+7.3%）はあったものの、大阪・関西万博シャトルバスの特需剥落などにより減収**

（百万円）	2027/3期			2026/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	**1,667**	**1,524**	**3,191**	1,682	1,649	3,331	△139	△4.2%
営業利益	**△34**	**△71**	**△106**	△13	10	△3	△102	–

部門別売上高比率（単位：%）



部門別売上高　前年同期比較



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

※グラフ内の各部門売上高は内部又は振替高控除前の金額

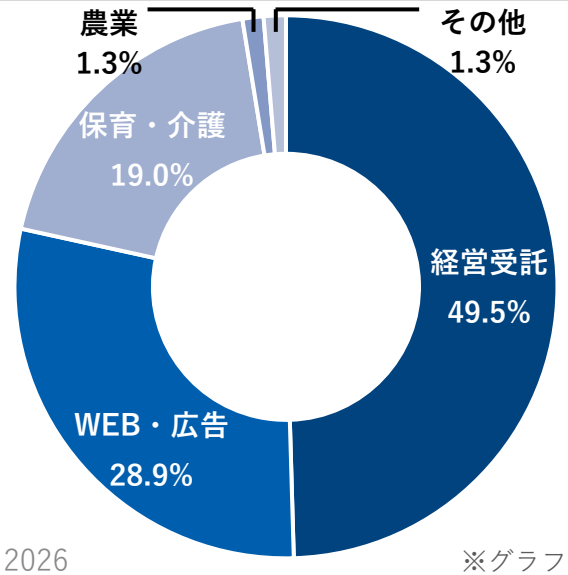
セグメント（その他）

神姫バス株式会社

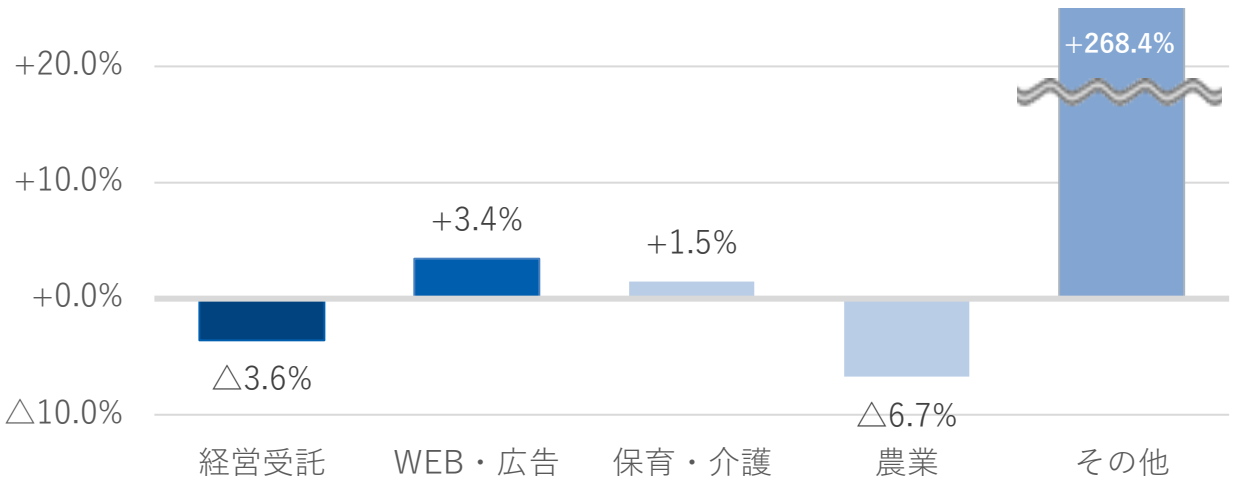
- **経営受託は、一部指定管理施設で管理期間が満了し減収**
- **WEB・広告は、鉄道媒体やラッピング製作が好調だったことなどにより増収**
- **保育・介護は、保育が小規模園における園児数の増加、介護が施設の増床による入居者の増加で増収**

（百万円）	2027/3期			2026/3期			前年同期比	
	1Q	2Q	計	1Q	2Q	計	増減額	増減率
売上高	**1,111**	**1,131**	**2,243**	1,120	1,130	2,250	△7	△0.3%
営業利益	**△43**	**△53**	**△96**	0	△45	△45	△51	－

部門別売上高比率（単位：%）



部門別売上高　前年同期比較



©shinkibus Co.,Ltd.　2026

※グラフ内の各部門売上高は内部又は振替高控除前の金額

連結貸借対照表

神姫バス株式会社

（単位：百万円）

	2026年3月末	2026年9月末	増減額	主な要因
流動資産	14,551	**13,602**	△949	
現預金	5,982	**5,561**	△421	
売掛金	5,992	**4,396**	△1,595	債権の回収による減
その他	2,576	**3,644**	+1,067	
固定資産	60,010	**61,974**	+1,963	
有形固定資産	47,898	**49,264**	+1,365	車両取得・整備工場建替等による増
その他	12,111	**12,709**	+598	
繰延資産	2	**2**	△0	
資産合計	74,564	**75,578**	+1,014	
負債	20,893	**21,615**	+721	
有利子負債	6,399	**5,782**	△616	借入金返済による減
未払金	3,868	**4,306**	+437	
その他	10,624	**11,526**	+901	
純資産	53,670	**53,963**	+292	
負債純資産計	74,564	**75,578**	+1,014	
※Net Cash	△416	**△221**	+195	

※Net Cash=期末現預金－期末有利子負債残高

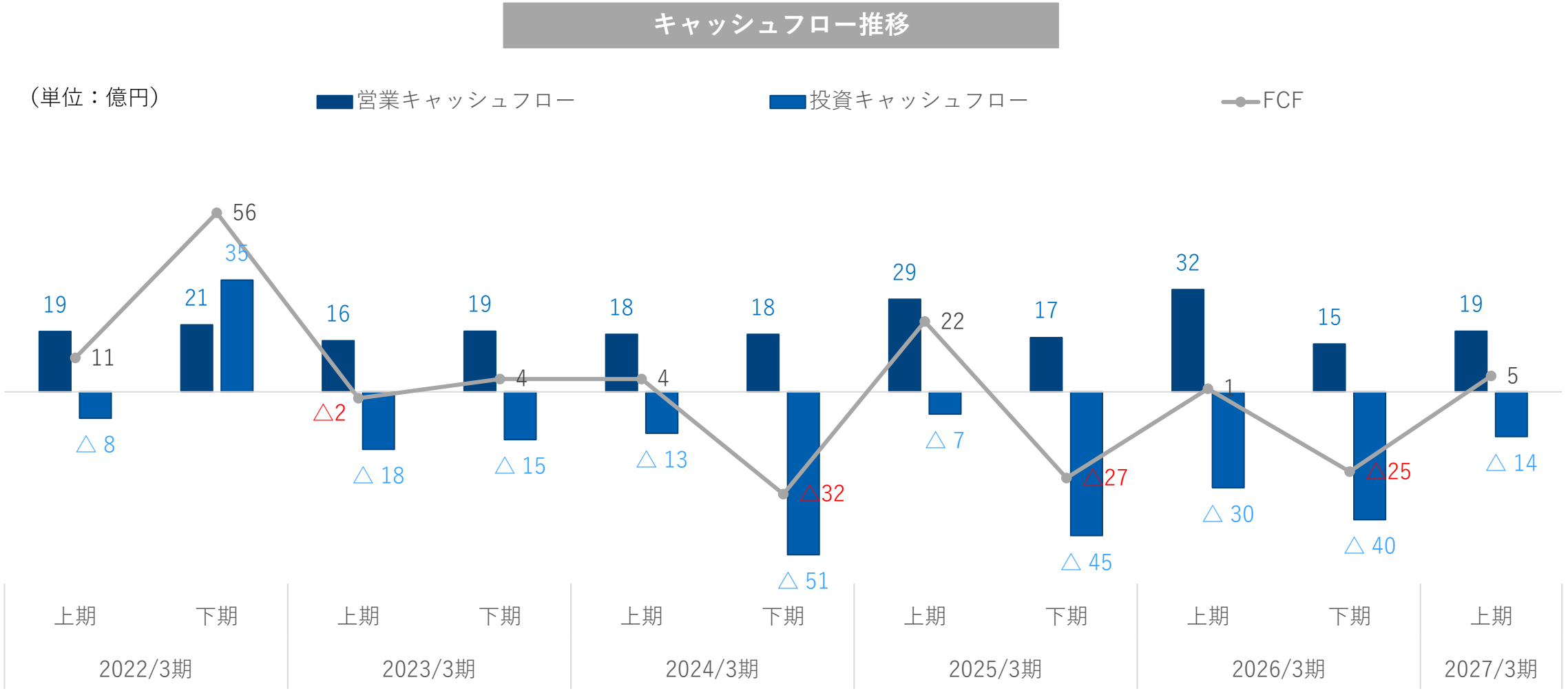
自己資本比率71.3%

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

連結キャッシュ・フローの推移

神姫バス株式会社

前年同期と比較して、営業CFは減益により減少するも、投資CFの支出は前期に姫路本社の建設があったことで減少し、結果としてFCFは増加



FCF=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

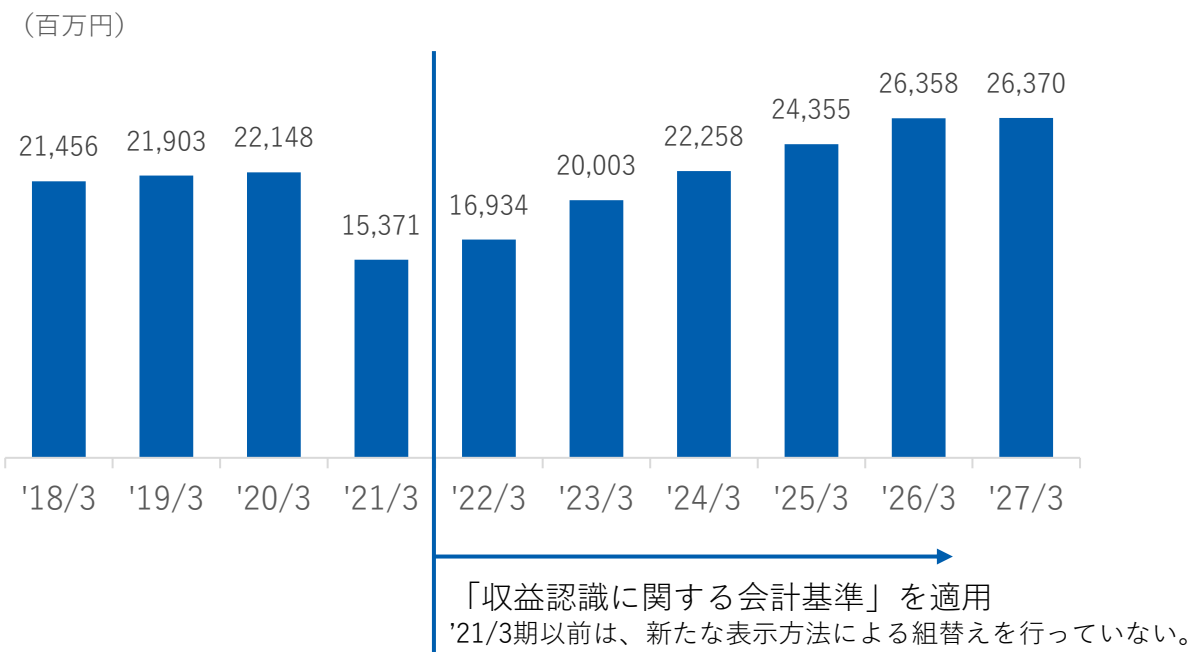
長期業績推移

神姫バス株式会社

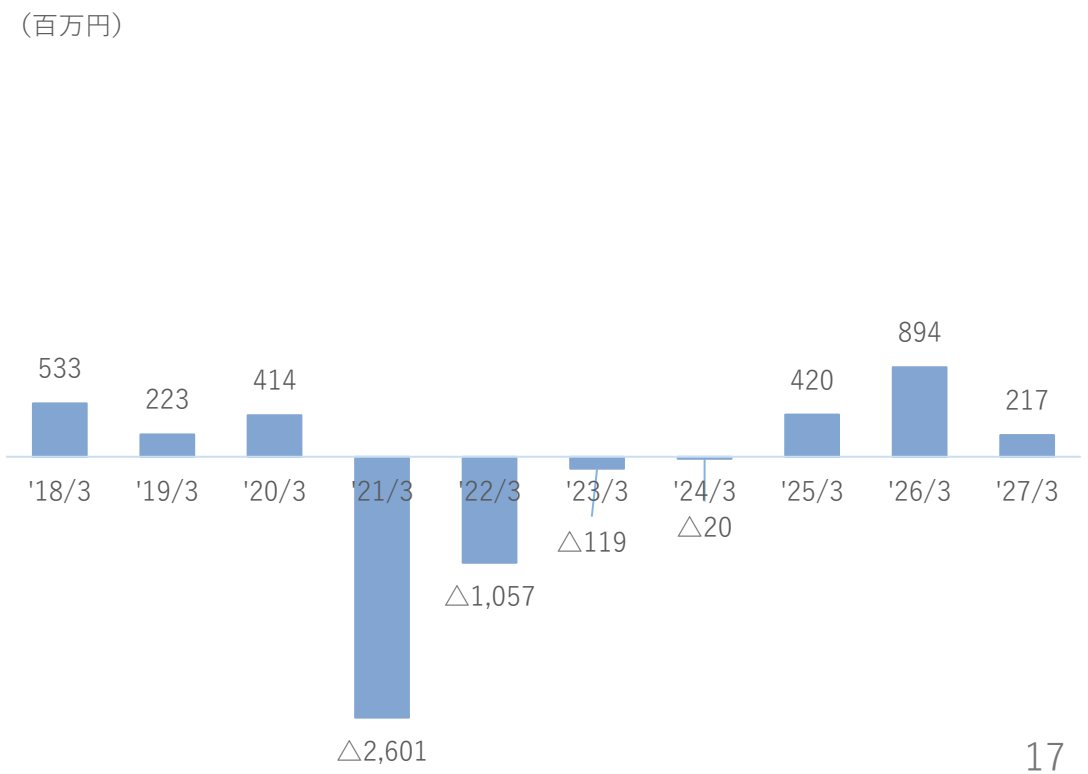
売上高では、過去最高であった前年同期（中間期）実績を上回り、過去最高を更新

利益では、前期の大阪・関西万博の反動減および処遇改善による人件費増、資材高騰などにより減益

中間期売上高



親会社株主に帰属する中間純利益



©shinkibus Co.,Ltd. 2026

2027年3月期　業績予想

©shinkibus Co.,Ltd.　2026

連結業績予想（総括）

神姫バス株式会社

- **売上高では、大阪・関西万博の反動による自動車運送や旅行貸切の減収を見込む一方、自動車運送での路線拡充や不動産での賃貸・建設案件、旅行貸切の首都圏展開といった新たな収入策により、増収を見込む**
- **利益では、ベースアップや人材確保による人件費の増加、バス車両（装備品含む）の更新や整備工場の建替関連費用などの増加で減益を見込む**

（百万円）	**2027年3月期 業績予想 (11月9日開示)**	2027年3月期 業績予想 (5月12日開示)	業績予想 増減額	2026年3月期 実績	前期比	
					増減額	増減率
売上高	**58,000**	57,000	+1,000	55,580	+2,419	+4.4%
営業利益	**3,500**	3,300	+200	4,199	△699	△16.7%
経常利益	**3,700**	3,400	+300	4,434	△734	△16.6%
売上高経常利益率	**6.4%**	6.0%	+0.4pt	8.0%	△1.6pt	－
親会社株主に帰属する当期純利益	**2,400**	2,200	+200	3,158	△758	△24.0%
1株当たり当期純利益	**198.81円**	182.24円	+16.57円	261.64円	△62.83円	△24.0%

※2026年5月12日開示の業績予想から修正

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

連結業績予想（セグメント別）

神姫バス株式会社

（百万円）	**2027年3月期 業績予想**	2026年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	**58,000**	**55,580**	**+2,419**	**+4.4%**
自動車運送	26,090	25,783	+307	+1.2%
車両物販・整備	11,570	11,122	+448	+4.0%
不動産	8,590	7,278	+1,312	+18.0%
レジャーサービス	5,340	5,022	+318	+6.3%
旅行貸切	7,280	7,062	+218	+3.1%
その他	4,720	4,651	+69	+1.5%
（セグメント間取引消去）	△5,590	△5,340	△250	－
営業利益	**3,500**	**4,199**	**△699**	**△16.7%**
自動車運送	1,390	2,124	△734	△34.6%
車両物販・整備	860	950	△90	△9.5%
不動産	1,510	1,407	+103	+7.3%
レジャーサービス	0	△80	+80	－
旅行貸切	20	23	△3	△13.0%
その他	△140	△171	+31	－
（セグメント間取引消去）	△140	△53	△86	－

※各セグメントの売上高及び営業利益（損失）は、セグメント間の内部又は振替高控除前の金額

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

連結業績予想前提条件

神姫バス株式会社





自動車運送

○路線バス
好調な三田～新大阪線の更なる増便や三宮～神戸空港線の増強を実施。

○高速バス
コロナ禍以降運休していた津山～京都線の復便や、姫路～東京の昼行高速バス新設など路線拡充を実施。

○費用
従業員の処遇改善、バス車両（装備品含む）更新などによる費用増を反映。



不動産

新規賃貸物件の通期寄与に加え、大型建設案件の引き渡しを見込む。
注文住宅等の販売件数は維持しつつ、建売・土地の単価上昇と利益率改善により、通期では想定どおりの業績を確保。





旅行貸切

旅行では、9月より東京での「真結」ツアーを実施、また10月に「大相撲姫路場所」を開催し、取扱高拡大を見込む。
一方、貸切バスは運転士確保が喫緊の課題。インバウンドはチャーター営業の販売強化に注力。



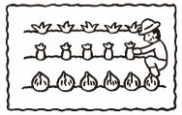
車両物販・整備

車両物販では車両部品の単価増、高額な臨時修理などにより売上が増加。
一方で、従業員の処遇改善、主要整備工場の建替関連費用の増加により減益を見込む。



レジャーサービス

ツタヤFCは書籍・カプセルトイなどの物販拡大により収益源を確保。
サービスエリアは、上期に引き続き客単価増による増収を見込む。また、飲食はリンクス梅田に出店したオリジナルブランドが好調に推移。





その他

サービス付き高齢者向け住宅は下期にかけて稼働率が改善する見通し。
前期末に開設した体験型複合施設「MONZEN Himeji Local Gateway」が通年寄与。

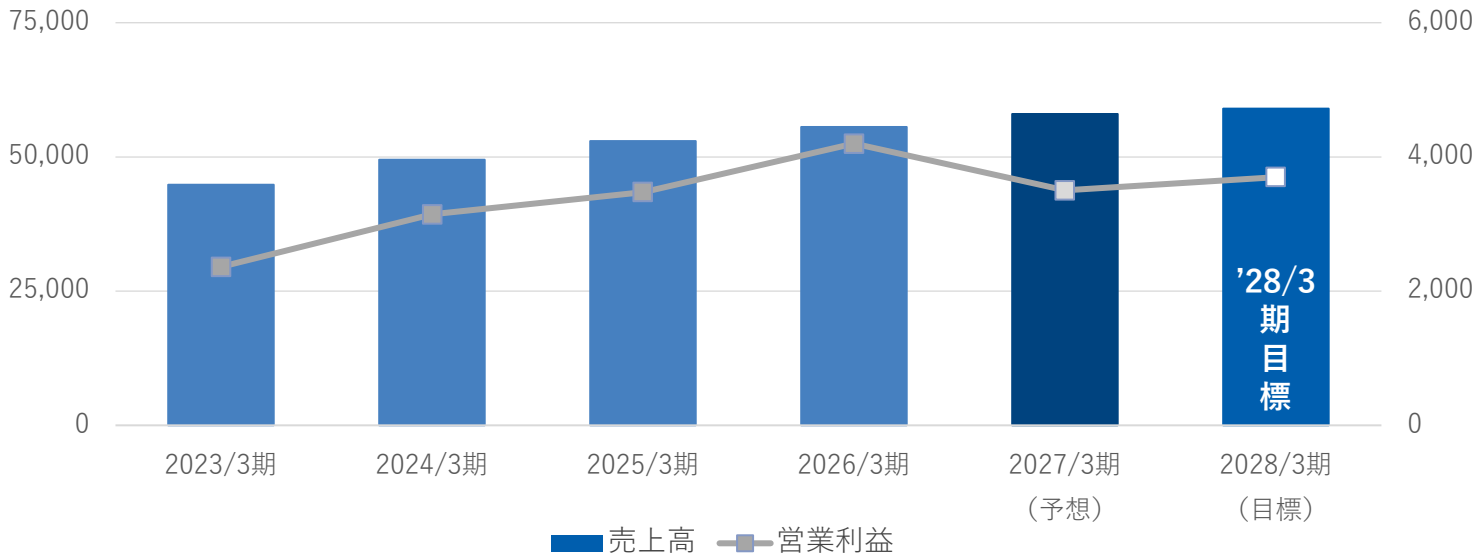
©shinkibus Co.,Ltd. 2026

イラスト ©2018 Yosuke Yamauchi

中期経営計画との比較（連結業績）

神姫バス株式会社

（単位：百万円）



2028年3月期　目標

持続的成長を支える既存事業の強化と成長事業の開拓・拡大

売上高　590億円

営業利益　37億円

2027年3月期の上期業績は、おおむね期初計画どおりの着地となった。下期は増収を見込む一方、設備投資に伴う償却費用の増加などにより、減益となる見通し。引き続き、中期経営計画の目標達成に向け、各施策に着実に取り組む。

（単位：百万円）

	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 実績	2026/3期 実績	**2027/3期 予想**	**2028/3期 目標**
売上高	44,820	49,480	52,954	55,580	**58,000**	**59,000**
営業利益	2,362	3,145	3,474	4,199	**3,500**	**3,700**
経常利益	2,622	3,283	3,729	4,434	**3,700**	**3,800**
親会社株主に帰属する当期純利益	1,766	2,251	2,471	3,158	**2,400**	**2,570**
売上高経常利益率	5.9%	6.6%	7.0%	8.0%	**6.4%**	**6.4%**

©shinkibus Co.,Ltd.　2026

株主還元

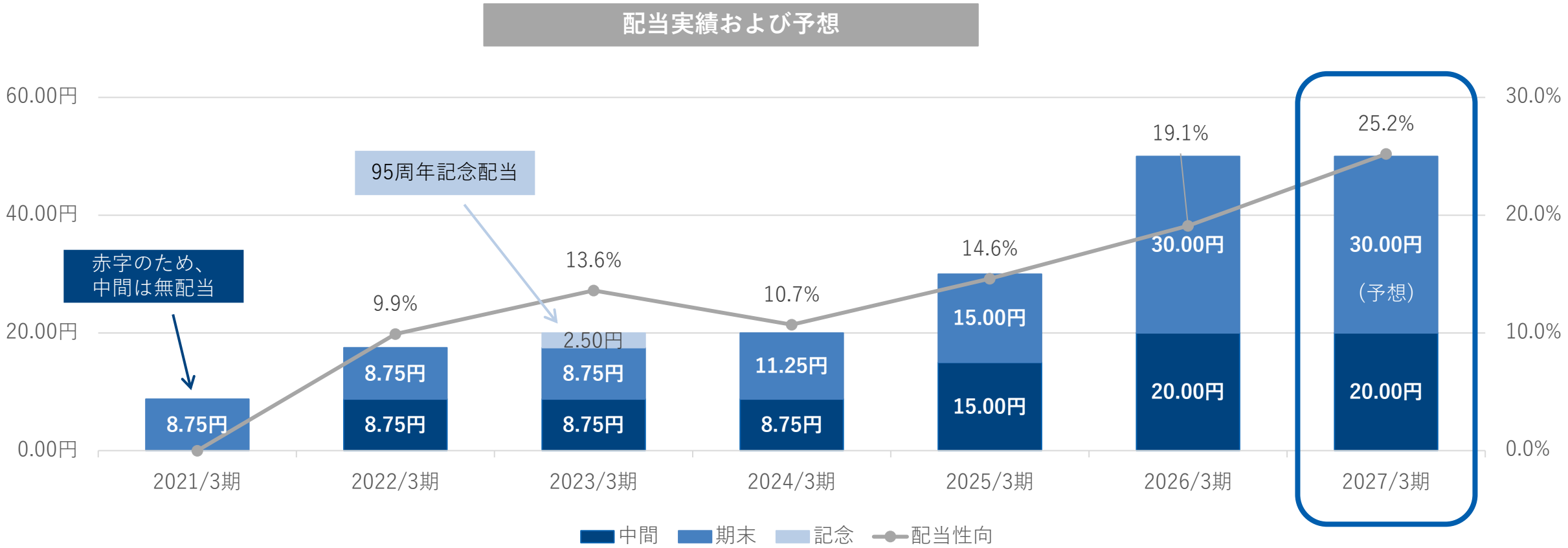
©shinkibus Co.,Ltd.　2026

株主還元

神姫バス株式会社

当中間期は、当初予想の1株当たり20円を配当

当期末は、業績予想の修正に伴い当初予想から5円増配の1株当たり30円とし、年間50円配当を予定



※2025年10月1日に株式分割（1株→2株）を実施したため、2026年3月期中間期以前の配当金は株式分割後を考慮した金額を記載

©shinkibus Co.,Ltd. 2026

ディスクレーマー

神姫バス株式会社

＜免責事項＞

当資料に記載されている内容のうち、過去の事実以外のものは、いくつかの前提に基づいた見通しであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
総務部　広報IR課
079-223-1241　(代表)
ir@shinkibus.co.jp

©shinkibus Co.,Ltd.　2026